

大和農水産物センター

DAIWA AGRICULTURAL & FISHERIES
PRODUCTS CENTER CO., LTD.



全国の産地から青果物を集め加工し
消費者へ届ける

○本社所在地：群馬県渋川市赤城町樽
293-4

○事業概要：青果物卸売・加工

○常時使用する従業員：35名

（2026年3月時点）

○現在の売上高：30億円

（2026年3月期）

○法人番号：6070001017774

○Web：https://daiwa-ns.co.jp/

企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ



代表取締役
角田 準一

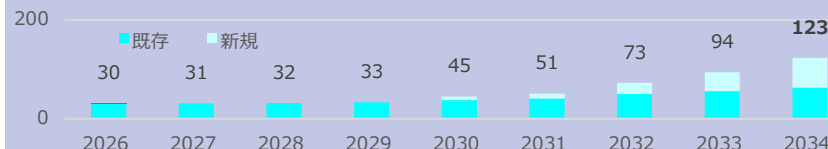
自然の恵みを消費者に“つなぐ”パイプ役となる

大和農水産物センターは、青果物の卸業を中心に成長してきました。全国の産地から新鮮な青果物を仕入れ、当社で付加価値を加え、スーパーマーケット様や食品製造業様へと提供しています。青果物を取り扱う企業として、食を通じた社会貢献、当社の成長を通じた雇用の創出や総生産の増加など地域経済への貢献など、地域への貢献も大切にしています。今後より一層に貢献していくため、地域の農業と消費市場をつなぐパイプ役となり、食品流通そのものの生産性と強靱性を高める成長企業になることを目指します。同時に、省力化や自動化を推進し、働きやすい職場環境を整備するとともに、賃金水準も積極的に高め、従業員が輝ける職場にしていきたいと思います。

売上高100億円実現の目標と課題

実現目標

2034年の100億円売上高達成に向け、既存事業では年率20%程度、新規事業では年率25%の成長を目指します



課題

- ・ 既存事業の成長を基盤として、取扱量・取扱品目・取引先を拡大し、売上高100億円企業への成長を目指す
- ・ 需要拡大に対して、加工・保管・荷捌き等の事業基盤が十分に対応できていないことが成長の制約となっている
- ・ 人手不足が進む中で、従業員の確保に依存した事業拡大には限界があり、業務の省力化・効率化による生産性向上が不可欠
- ・ 地域との連携を一層深め、持続的な食品流通を支える基盤構築

売上高100億円実現に向けた具体的措置

目指す成長手段

- ・ 既存の青果物卸売事業を基盤とした取扱量の拡大、取扱品目・加工領域の拡大による商品・サービスの高付加価値化を図るため、工場等の生産拠点の抜本的な見直しを行う
- ・ 人手不足に対応した、設備投資による加工・保管・物流機能の強化と生産性向上を図る
- ・ 当社が有する仕入先である産地や農協、販売先である量販店やスーパー等の取引基盤と、物流・加工・品質管理等のノウハウを活用し、新たな流通モデルを構築する
- ・ デジタル化・業務効率化等を通じた経営基盤の高度化

実施体制

- ・ 経営陣が成長戦略を統括し、各部門が連携して100億円達成に向けた取組を推進する
- ・ 設備投資により加工・冷蔵・荷捌き能力を強化し、物流協力会社とも連携して取扱量の拡大に対応する
- ・ 農協、生産者等との連携を強化し、地域の中小・零細農家のニーズや声をタイムリーに収集できる体制の整備
- ・ 成長に必要な人材の確保・育成と、デジタル化・業務効率化を進め、組織として成長を支える経営基盤を強化する